

夏至を迎えて

校長 小菅 みちる

6月下旬となり、夏至を迎えました。一年のうちで最も昼の時間が長いこの季節、放課後の校庭や体育館には、生徒たちの元気な声がいっまでも響いています。

今月はじめに行われた体育祭では、3年生が学校の中心となり、大いに活躍しました。競技に全力で取り組む姿はもちろん、仲間を励ましたり、係活動に責任をもって取り組んだりする姿からは、最上級生としての成長が感じられました。その姿を見ながら、頼もしさとともに、三年間の積み重ねの大きさを改めて実感しました。今年、石川台中にいらした先生方の一人が、「3年生が下級生の名前を呼んで応援している姿を見て、全校生徒の距離が近いアットホームな学校だと思いました」と言っていました。大きな学校では人数が多すぎて自分の学年の生徒の名前も覚えきれないくらいだから、下級生の名前を知っているなんて驚いた、ということなのです。石中にとってはあたりまえのように行われていたことでしたが、これを聞いて、小さな学校の良さを改めて感じました。

部活動では、運動部の多くの3年生が最後の大会や試合に臨んでいます。先月、野球部の公式戦を見に行きました。野球部メンバーが1年生のとき、部員は3年生を合わせてたったの5人。もちろん石中だけでは試合に出る人数が足りず、他校と合同チームではじまりました。初心者もたくさんいて、「これからどうなるだろう」と心配しながら見守ってきました。それがどうでしょう。試合に出ている人もベンチにいる人も、お互いを励まし、支え、チーム全員で前向きに取り組む集団になっているのです！白球を追う姿に胸が熱くなりました。また、この前はバドミントン部の大会の応援に行きました。1年生入部当時のバド部は、1つ上の上級生が1人しかいなかったこともあり、部としての難しさがあったことでしょう。そんな中で仲間と共に汗を流し、時には悔しさを味わいながら徐々に力をつけてきたのです。休日、自主的に校舎周りを走っている部員の姿を何度か見たことがあります。3年間、それぞれがコツコツと地道な練習を重ねてきたのです。試合を見て、彼ら彼女らの成長を肌で感じることができました。

そして、その3年生の背中を一番近くで見ているのが1・2年生です。体育祭や部活動で先輩たちが見せてくれた真剣な姿、仲間を思いやる姿は、確実に後輩たちの心に届いています。来年、再来年は自分たちがその役割を担うのだという思いを胸に、これからの学校生活を歩んでほしいと思います。

夏の訪れとともに、生徒たちはそれぞれの目標に向かって歩みを進めています。一人ひとりの成長を大切に見守りながら、学校全体で力を合わせて実りある毎日をつくっていきたいと思います。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・き り と り・・・・・・・・・・・・・・・・・・

学校だより 6月号

感想などありましたらお書きください。お名前を伏せて掲載させていただくことができます。

年 組 生徒氏名

二泊三日の修学旅行 無事終了！

石川台中学校第3学年は、5月24日（日）から26日（火）にかけて、京都・奈良方面に修学旅行に行きました。「京魅新進 和っ！と輝け 最幸学年」のスローガンのもと、実行委員会を中心に準備を進めました。その成果として、大きな事故やケガもなく、天候に恵まれた3日間を過ごすことができました。

初日は奈良公園内での班活動、東大寺大仏殿、春日大社などを巡り、公園内のシカと遊ぶなど初めての体験が多く、楽しそうな様子が見られました。

2日目は京都市内をバスや電車を使って班行動を行いました。慣れない京都市内で、社会のルールやマナーに気を配り、自分たちが計画した予定に従って行動しました。夜は宿泊旅館内で清水焼の湯飲み絵付け体験を行いました。

3日目はジャンボタクシーを利用した京都市内班行動でした。タクシーの運転手さんと自分たちが訪れたい場所について相談して、京都市内観光を楽しみました。最終日の昼食は、学年全員で「うどん食べ放題」を堪能しました。

今回の修学旅行を実施するに当たり、費用や事前準備なども含め、保護者の皆様にはたくさんのご協力をいただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。



★ 学校改築ニュース ★

学校改築に向けての校舎の解体工事が進んでいます。

校庭の体育倉庫やプール、プール更衣室等が解体されています。

6月からは図書室や音楽室として使用していた校舎の西側部分の解体も始まりました。

慣れ親しんだ石川台中学校の施設が取り壊されていくのは寂しく思います。



2026,6,6 体育祭

たくさんのご観覧
ありがとうございました！！

6月6日(土)、朝のどんよりとした曇り空がうそのように晴れ上がり、快晴の下で第72回体育祭が開催されました。今年の体育祭のスローガンは、「花様年華～忘れられない72(なつ)にしよう～」です。「花様年華」とは「人生の中で最も美しく輝く時」という意味があり、開校72年目の「72」と、記憶に残る最高の“夏”の思い出をつくりたいという思いが込められています。

今年は校舎改築工事のため校庭が例年の3分の2の広さとなったため、種目を精選して開催しました。今年の学年種目は、1年が「進撃の1年」、2年とA組が「大なわとび」、3年が「ムカデ競争」でした。この他に各学年の「全員リレー」、「紅白対抗綱引き」、「紅白対抗積み木リレー」、「紅白対抗リレー」を行いました。

体育祭に向けた練習を重ねることにより、仲間とともに協力し、笑い、成長する時間が、きっと「忘れられない72(なつ)」になったことでしょう。

◇表彰の記録◇

◆バドミントン部

令和8年度第79回区民スポーツ大会（春季）

男子ダブルス 2位 2年生

◆演劇部

第25回関東中学校演劇発表会・2026 関東中学校演劇コンクール

題 『煙にマクベシ！』（大田区内演劇部有志メンバーにて出場）

2年生 6名

自分の身を「自分で守る」には！？ ～セーフティ教室～

依存症にならないで

～セーフティ教室～

17日(水)にセーフティ教室を行いました。今回のセーフティ教室では、e-ネットキャラバンの方を講師に迎えて、「インターネットの扱い方」や「SNS の危険性」などについて学びました。

講師の方のお話にもあったように「実はとっても身近で取り返しのつかない事態になってしまうことがある問題」であり、どんなきっかけで危ない目や危険にさらされるかが分かりにくいのが今の世の中です。これほどSNSが身近になり便利になった反面、その扱い方を間違えてしまうと取り返しのつかないことも…そこでやっぱり大切になるのが「自分の考え」と「判断力」をしっかりとつことが大切だと思います。生徒が振り返りのアンケートに書いてくれた内容を紹介します。



- ・インターネットに書き込んだことはその場では消すことができるけど、多くの人の眼に触れたり、スクリーンショットを撮られていたりすると一生消すことが出来ないから、気を付ける！
- ・ニュースで聞いていた闇バイトが意外に身近かもと思った…自分だったら同じ状況で断り切れるかちょっと考えてしまった。高校に行けばもっと人間関係が広がるから身近に起こるかも…
- ・インターネットをきっかけに広がる良い人間関係もあるが、逆に悪い方向に広がってしまう危険もある。SNS やインターネットを使う時には「自制心」が必要だと思った。
- ・実際にあったこととともに説明してくれてとてもわかりやすく、伝わりやすかったです。欲求が強すぎると制御しきれず大変なんだなと思いました。こういうことになるのが怖いですが、今のSNS は普通の行動でも叩かれやすくなっているのでSNS では自我を出していませんが、今後投稿などするようになったときは気をつけようと思います。講話は、画面で説明するだけではなく言葉メインなのが逆に集中しやすかったです。
- ・セーフティ教室で特に印象に残ったのは、ゲームしかしなくなった生徒会長の話です。将来の私がそうになってしまいそうでとても怖かったです。ティックトックやYouTubeのショート動画を見るたびに脳が溶けていく感じがします。なので、自分のスマホに時間制限をかけて、勉強にも集中するようにしたいと思いました。今回のセーフティ教室で学んだことを活かして「かしこい使い方」ができるように頑張りたいです。また、フェイクニュースの見分け方なども知ることができたのが良かったです。
- ・自分はまだスマートフォンを持っていないけど、将来必ず持つようになるものだから、自分の行動がどのような影響を与えて、自分にはどのような悪いことが起きるのかすごく話を聞いていて伝わってきました。今もゲーム自体はしているため、時間を自分自身で守れるようになりたいと思いました。そして今回学んだことを周りの人たちにも教えてあげたいと思いました。
- ・今日のセーフティ教室ではあらためてSNS の怖さを知りました。私も依存しかけていたと思ったのでスマホを使う時間をしっかりと決めて使っていこうと思いました。SNS ではコメントをする時があるんですけど、発言に気を付けて誹謗中傷をしないようにしていこうと思いました。あと、フェイクニュースによく引っかかってしまうので今日言われたことを思い出しながら過ごそうと思いました。